



グローバル関係融合研究センター主催

緊急ワークショップ

今イラクで何が起きているのか

イラクで若者たちが始めた反政府デモの現状と、原因を論じる

10月1日、イラクの首都バグダードで数千人の若者が政府の腐敗や失業率の高さ、格差の拡大に反対して、デモを開始しました。瞬く間にデモはイラク各地に広がり、毎日のように死傷者がでていきます。2003年のイラク戦争で独裁政権が倒され、2017年末にはイラク北部を支配していたイスラーム国(IS)を鎮圧したにもかかわらず、イラク国内の社会経済状況は改善していません。

今回のワークショップでは、来日中のイラク・バグダード大学社会学科講師のシーリーン・アルシュクリ女史に今なぜイラクで若者が抗議デモに参加するのか、原因を伺います。

講師1

酒井啓子

(法政経学部 教授)

「戦後のイラク政治はどう展開してきたか」



講師2

シーリーン・アル=シュクリ

(バグダード大学人文学部
社会学科 講師)

「イラクの若者は
何を求めているか」



日時: 12月12日(木) 16:30-18:00

場所: 人文社会科学系総合研究棟4階 共同研究室1

